

平成27年度事業報告

法人本部・管理部

1 理事会・評議員会開催状況

平成27年5月開催の理事会、評議員会は前年度(平成26年度)事業報告、決算報告が承認された。11月開催の理事会、評議員会は平成27年度上半期事業報告、補正予算の承認、及び役員改選が行われた。塩谷理事長が退任したため12月に臨時理事会を開催し、八島敏昭理事が理事長に就任した。平成28年3月開催の理事会、評議員会は次年度(平成28年度)事業計画及び収支予算が承認された。

[理事会]	第91回理事会(平成27年度第1回)	平成27年5月28日開催
	第92回理事会(平成27年度第2回)	平成27年11月26日開催
	第93回理事会(平成27年度第3回)	平成27年12月5日開催
	第94回理事会(平成27年度第4回)	平成28年3月24日開催
[評議員会]	第55回評議員会(平成27年度第1回)	平成27年5月28日開催
	第56回評議員会(平成27年度第2回)	平成27年11月26日開催
	第57回評議員会(平成27年度第3回)	平成28年3月24日開催

2 運営概況

(1) 法人経営

理事長及び役員級職員による経営会議を定期的に行い、新規事業、人事等の重要事項について意思決定を行った。事業執行は各事業部及び各事業所の管理職によって構成する運営会議を定期的に行い迅速かつ円滑な事業運営を行った。

(2) 人事労務等

定期昇給を実施し、一時金は前年度実績を支給した。最低賃金改定に伴い非常勤職員の時給単価を改定した。資格取得支援を行った。

(3) 予算及び会計

新会計基準による会計処理を行った。平成27年10月と平成28年3月の二度わたる予算の補正を経て収支ベースで約5,600万円の収入超となり、経営の安定のため3,500万円を積み立てた。この結果、資金収支で約2,100万円の黒字決算となった。障害福祉事業部においてサービス管理責任者の配置に不備があることが横浜市の実地指導で指摘され、多額の給付金が減額された。

3 事業概況

(1) 事業関係

新規グループホーム(市内南部方面に2か所)を平成28年3月に開設した。新規事業として強度行動障害者支援者養成研修事業を神奈川県から受託した(研修会3回開催)。

(2) 苦情解決事業関係

障害福祉事業部で苦情が1件あり部長を中心に対応した。高齢福祉事業部では苦情はなかった。事故防止、利用者支援の向上、福祉サービスを充実させるため、法人全事業所において前年度(平成26年度)に発生した苦情、事故事件、ヒヤリハット等を苦情解決事業第3者委員等に報告する会議を平成27年12月に開催した。

4 その他

相談スペースの狭隘化と環境改善のため横浜市発達障害者支援センターは平成28年2月に横浜駅西口エリアから関内エリアに移転した。

障害福祉事業部

施設支援1課

「東やまた工房」

1 事業概況

生活介護(定員38名)、短期入所(定員1名)、日中一時支援(定員1名)のサービスを提供した。体制は課長、係長のもと2作業室に常勤職員6名を配置した。新規利用者1名を受け入れたが、生活介護事業所「リンク」に1名が移った。

2 事業実績

(1) 生活介護事業(定員38名・現員38名)

① 利用者概況(平成28年3月31日現在)

(ア) 障害支援区分状況

障害程度区分	非該当	1	2	3	4	5	6	合計	
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	0	6	7	13
	女	0	0	0	0	0	1	1	2
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	2	6	8	16
	女	0	0	0	0	0	1	1	2
療育手帳 B1	男	0	0	0	0	0	2	1	3
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	1	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	0	3	14	16	33
	女	0	0	0	0	0	2	3	5

(イ) 年齢別状況

年齢	～19歳	20～29	30～39	40～49	50歳～	計	平均
男性	0	5	8	17	3	33	39歳 8か月
女性	0	0	1	4	0	5	41歳 7か月
計	0	5	9	21	3	38	39歳11か月

(ロ) 利用期間状況

期間	～1年	1～3	3～5	5～10	10～	15年～	計	平均期間
男性	0	2	3	8	10	10	33	13年 2か月
女性	1	0	0	2	0	2	5	11年 4か月
計	1	2	3	10	10	12	38	12年11か月

(ハ) 長期入院等状況

状況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院	0
3か月以上の継続入院	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅	0
3か月以上の継続帰宅	0

(ニ) 通所方法状況

方法	人数
自力	6
保護者迎	10
送迎バス	5
その他	17
計	38

(ホ) 利用日数状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	21	18	22	22	16	19	22	20	19	18	20	22
平均日数	20	17	21	20	15	18	20	18	17	16	19	20

(ヘ) 入退所状況

入所者	入所日	居住区	備考
32歳(女性)	H27. 5. 18	神奈川区	「東やまたレジデンス」入所者の生活介護利用
退所者	退所日	居住区	備考
43歳(男性)	H27. 12. 13	磯子区	「リンク」へ移行

(2) 短期入所事業(定数: 1名)

①利用状況(宿泊延べ日数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
19	15	23	17	11	15	21	21	24	20	22	26	234

②障害支援区分状況(実数)

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	0	1	6	9	16
女性	0	0	0	0	1	0	1

③年齢別状況(実数)

年齢	～19	20～29	30～39	40～	合計
男性	0	9	2	5	16
女性	0	0	0	1	1

(3) 日中一時支援事業(定数: 1名) のべ 0日・実数0人

(4) 支援状況

①作業支援

受注作業(6企業)を中心とした生産活動、清掃や洗濯などの家事活動、スポーツセンターでの清掃活動などを提供した。

②余暇支援

個別の余暇活動サポート、グループ宿泊旅行(3回)、平日夕方のレクリエーション(ボウリング、カラオケ等5回)を実施した。

③生活支援

生活全般の助言、通所支援、グループホームとの情報共有による連携、通院同行、主治医への情報提供、医師の助言による健康管理などを行った。

⑤その他

施設内トイレの改修工事を実施した。

「まるんワークス(YOU)」

1 事業概況

「まるんワークス」の従たる事業所「YOU」では利用者1名「東やまたレジデンス」(入所)に移った。生活介護事業(定員24名)、日中一時支援(定員2名)のサービスを提供した。支援体制は課長以下係長1名、各事業所に常勤職員2～3名、非常勤職員若干名を配置した。

2 事業実績

(1) 生活介護事業(定員24名・現員25名)

①利用者概況(平成28年3月31日現在)

(f)障害支援区分状況

障害支援区分	非該当	1	2	3	4	5	6	合計	
療育手帳 A 1	男	0	0	0	0	1	1	2	4
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 A 2	男	0	0	0	0	2	8	3	13
	女	0	0	0	0	2	0	0	2
療育手帳 B 1	男	0	0	0	1	0	0	1	2
	女	0	0	0	0	0	1	0	1
療育手帳 B 2	男	0	0	0	0	1	1	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	1	4	10	6	21
	女	0	0	0	0	2	1	1	4

(g)年齢別状況

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	計	平均
男性	0	8	2	9	2	21	37.8歳
女性	0	0	1	3	0	4	42.4歳
計	0	8	3	12	2	25	38.5歳

(ウ) 利用期間状況

『まろんワークス』

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	0	1	1	4	5	0	11	10年 1か月
女	0	0	0	0	2	0	2	13年11か月
計	0	1	1	4	7	0	13	10年 8か月

『YOU』

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	0	0	0	4	6	0	10	10年10か月
女	0	0	0	0	2	0	2	13年 5か月
計	0	0	0	4	8	0	12	11年 3か月

(エ) 長期入院等状況

状 況	人 数
1か月以上3か月未満の継続入院者	0
3か月以上の継続入院者	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅者	0
3か月以上の継続帰宅者	0

(オ) 利用方法状況

自 力	14
保護者送迎	6
送迎バス	0
その他	5
計	25

(カ) 利用日数状況

『まろんワークス』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
要通所日数	21	18	22	22	16	20		
平均通所日数	21.7	17.9	21.8	21.4	15.4	18.3		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要通所日数	22	21	19	18	20	22	241	20.1
平均通所日数	20.8	20.7	18.8	17.9	19.7	21.8	235.2	19.6

『YOU』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
要通所日数	21	18	22	22	16	20		
平均通所日数	18.5	16.2	19.8	18.8	13.8	18.0		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要通所日数	22	21	19	18	20	22	241	20.1
平均通所日数	19.3	17.9	17.5	16.0	17.8	19.6	213.5	17.8

(キ) 入退所状況

『YOU』

退所者	退所日	居住区	備 考
38歳(男性)	H27.5	泉区	「東やまたレジデンス」(入所)利用のため

(2) 支援状況

① 日中活動及び作業内容

商品名シール貼り作業は発注業者からの支払いが滞ったため終了した。文房具組立・包装、自動車部品組立、都筑区受託クリーンタウン横浜事業センター北清掃業務は継続した。横浜市発行の冊子「障害福祉のあんない2015」の訂正作業を新たに請け負った。

② 生活状況

外食や公共交通機関の利用など地域資源を積極的に活用する機会を設けた。居宅介護サービスや移動支援サービスの利用状況の調整を行った。他法人のグループホームと連携し利用者支援を行った。健康診断、体重測定など健康管理を行った。

③ その他

「まろんワークス」「YOU」「アイテック」と共同で宿泊レクリエーションを実施した。特別支援学校生徒の実習(1名)、保護者見学を随時受け入れた。

(3) 日中一時支援事業(定数：2名) 利用実績：のべ4日 実数 3人

「リンク(アイテック)」

1 事業概況

「リンク」は法人内の通所事業所から移った利用者1名を受け入れ欠員を補充した。従たる事業所「アイテック」は欠員(1名)状態を解消できなかった。生活介護事業(定員20名)のサービスを提供した。支援体制は課長以下、各事業所に常勤職員2名、非常勤職員1名を配置した。

2 事業実績

(1) 生活介護事業(定員20名・現員19名)

①利用者概況(平成28年3月31日現在)

(ア)障害支援区分状況

障害支援区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	1	1	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	1	4	0	5
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B1	男	0	0	0	1	3	2	1	7
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	2	0	1	1	4
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
その他 (身体2級)	男	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	3	5	9	2	19
	女	0	0	0	0	0	0	0	0

(イ)年齢別状況

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	計	平均
男性	0	2	6	6	5	19	41.6歳
女性	0	0	0	0	0	0	—
計	0	2	6	6	5	19	41.6歳

(ロ)利用期間状況

『リンク』

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	1	9	0	0	0	0	10	2年8か月
女	0	0	0	0	0	0	0	—
計	1	9	0	0	0	0	10	2年8か月

『アイテック』

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	0	9	0	0	0	0	9	2年11か月
女	0	0	0	0	0	0	0	—
計	0	9	0	0	0	0	9	2年11か月

(エ)長期入院等状況

状 況	人 数
1か月以上3か月未満の継続入院者	0
3か月以上の継続入院者	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅者	0
3か月以上の継続帰宅者	0

(オ)利用方法状況

自 力	16
保護者送迎	0
送迎バス	0
そ の 他	3
計	19

(カ)利用日数状況

『リンク』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
要通所日数	21	18	22	22	16	19		
平均通所日数	20.6	17.5	21.4	21.3	15.3	18.2		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要通所日数	21	19	19	18	20	22	237	19.8
平均通所日数	20.7	18.7	17.9	17.5	19.7	21.5	230.3	19.2

『アイテック』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
要通所日数	21	18	22	22	16	20		
平均通所日数	17.8	14.8	19.8	19.0	13.3	16.7		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要通所日数	22	21	19	18	20	22	241	20.1
平均通所日数	18.8	17.4	17.0	15.5	17.1	19.6	206.8	17.3

(キ)入退所状況

『リンク』

入所者	入所日	居住区	備 考
43歳(男性)	H27.12.14	磯子区	「東やまた工房」から異動

退所者なし

(2)支援状況

①日中活動及び作業内容

文房具類組立・包装、プラスチック製品等のシール貼り・包装、紙器製作、建築資材・自動車部品の組立などの受注作業、任意団体から清掃業務を請け負った。

②生活状況

利用者同士の相性や保護者の希望する活動に配慮し、宿泊レクリエーションを実施した。移動支援サービス利用者には、ガイドヘルパーと情報交換を行い活動中の状態を把握した。健康診断、通院同行、歯磨き等の支援を行った。

③その他

高齢の保護者には家庭訪問を行った。特別支援学校生徒(2名)の実習を受け入れた。「アイテック」利用者1名が他法人のグループホームを利用することになったため情報交換等を行った。

(3)日中一時支援事業(定数：2名) 利用実績：のべ0日 実数 0人

施設支援2課

「東やまたレジデンス」

1 事業概況

生活介護(定員50名)、施設入所支援(定員40名)、短期入所(定員4名)、日中一時支援(定員2名)を提供した。体制は次長以下3係制とし、各係に職員9名、専門職として看護師1名を配置した。日中活動支援と居住支援の役割分担を整理してサービスを提供した。施設入所支援では、利用者5名が新設グループホーム移行したため新たに5名の入居者を受け入れた。生活介護事業では生活介護事業「YOU」から移ってきた利用者1名を受け入れた。Aユニットの強度行動障害対応ユニットへの切替えを準備したが、職員補充ができず保留となった。居室の再編成、居住ユニット機能の整理(地域移行ユニット、同性ユニット)、短期入所枠の拡大等の検討を行った。社会福祉士受験資格や教員免許取得等の学生実習、特別支援学級の生徒実習、他施設・機関からの実習、見学希望が増加した。日本自閉症協会の発達障害支援者スーパーバイズ養成研修を受託・実施した(5日間の研修カリキュラム・2回)。群馬県受託の発達障害支援者専門研修は講師派遣と施設実習を行った。安全管理委員会を開催して事故予防、衛生管理、健康管理の改善を行った。

2 事業実績

(1) 生活介護事業(定員50名・現員55名)

①利用者概況(平成28年3月31日現在)

(ア)障害支援区分状況

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳A1	男	0	0	0	0	0	2	37	39
	女	0	0	0	0	0	0	5	5
療育手帳A2	男	0	0	0	0	1	2	4	7
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳B1	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳B2	男	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	1	0	1	2
合計	男	0	0	0	0	1	4	42	47
	女	0	0	0	0	1	0	7	8

(イ)年齢別状況

年齢	～19歳	20～29	30～39	40～49	50歳～	計	平均
男性	0	4	8	32	3	47	39.8歳
女性	0	1	3	2	2	8	41.9歳
計	0	5	11	34	5	55	41.6歳

(ロ)利用期間状況

期間	～1年	1～3	3～5	5～10	10～	15年～	計	平均期間
男性	1	2	3	3	4	34	47	16年6か月
女性	0	1	0	4	0	3	8	10年11か月
計	1	3	3	7	4	37	55	15年8か月

(ハ)長期入院等状況

状況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院	0
3か月以上の継続入院	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅	0
3か月以上の継続帰宅	0

(ニ)通所方法状況

通所方法	人数
自力	0
保護者迎	8
送迎バス	1
その他	46
計	55

(ホ)利用日数状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	22	20	22	23	18	21	23	21	21	20	21	23
平均日数	21	19	22	22	16	20	22	20	20	19	20	22

(ヘ)入退所状況

入所者	入所日	居住区	備考
38歳(男性)	H27.5.20	泉区	「YOU」から移行

退所者なし

②支援状況

係ごとに日中担当職員を配置して3作業エリアが安定して運営ができるようにした。活動は自動車部品梱包、空缶リサイクル作業を継続し、近隣のスポーツ会館での清掃活動に参加した。過ごしかたがわからない利用者には作業教材を使用して自立的に活動できるよう支援した。作業エリアの環境を定期的に見直し、わかりやすく過ごせるレイアウトに整えた。休憩の過ごし方、余暇活動の開発、軽運動、宿泊旅行は引き続き実施した。

(2) 施設入所支援(定員40名・現員40名)

①利用者概況(平成28年3月31日現在)

(ア) 障害支援区分状況

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳A1	男	0	0	0	0	0	2	24	26
	女	0	0	0	0	0	0	5	5
療育手帳A2	男	0	0	0	0	1	0	2	3
	女	0	0	0	0	1	0	2	3
療育手帳B1	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳B2	男	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	1	0	1	2
合計	男	0	0	0	0	1	2	27	30
	女	0	0	0	0	2	0	8	10

(イ) 年齢別状況

年齢	～19歳	20～29	30～39	40～49	50歳～	計	平均
男性	0	1	8	20	2	31	40.9歳
女性	0	0	3	4	2	9	44.4歳
計	0	1	11	24	4	40	41.7歳

(ロ) 利用期間状況

期間	～1年	1～3	3～5	5～10	10～	15年～	計	平均期間
男性	3	0	1	0	0	26	30	16年9か月
女性	2	1	0	1	0	6	10	12年9か月
計	5	1	1	1	0	32	40	15年9か月

(ハ) 長期入院等状況

状況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院	0
3か月以上の継続入院	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅	0
3か月以上の継続帰宅	0

(ニ) 入退所状況

入所者	入所日	居住区	備考
38歳(男性)	H27.5.18	鶴見区	「東やまたレジデンス」生活介護
45歳(女性)	H27.5.20	都筑区	「東やまた工房」
39歳(男性)	H27.5.20	南区	「東やまた工房」
38歳(男性)	H27.5.20	泉区	「YOU」から「レジデンス」生活介護へ
32歳(女性)	H27.5.18	神奈川区	法人外から「東やまた工房」へ

退所者 なし

②短期入所事業(定数:4名)

(ア) 利用状況(宿泊延べ日数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
122	88	109	117	95	103	113	100	91	86	121	107	1,252

(イ) 障害程度区分状況(実数)

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	2	3	16	22	43
女	0	0	0	2	3	2	7

(ロ) 年齢別状況(実数)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	合計
男	2	17	17	7	43
女	0	1	5	1	7

③日中一時支援事業(定数:2名) 延30.5日・実数40人

④支援状況

居住生活を中心とした生活支援を行い、外出、宿泊旅行、休日余暇活動、体調管理、

感染症予防などの医療対応や通院支援などを実施した。健康増進のために軽運動を実施したが今後は運動メニューを充実させていく。強度行動障害対応ユニットの支援体制を検討した。清水基金による海外研修、日本自閉症協会の発達障害スーパーバイザー養成研修の長期研修に職員2名が参加した。法人内研修は権利擁護研修、外部講師による行動支援計画、横浜市後見的支援制度の講習会等を開催した。臨床心理士、精神科医によるケース検討会も実施した。

⑤その他

Gユニット浴室脱衣場の改修工事を実施した。

施設支援 3 課

「ポルト能見台」

1 事業概況

生活介護事業(定員50名)、短期入所事業(定員1名)、日中一時支援事業(定員2名)の障害福祉サービスを提供した。生活介護の利用者は合計58名であった。年度末(平成28年3月)に2つの新規グループホームを開設した。支援体制は施設長(管理者・サービス管理責任者兼務)、係長3名、主任1名、専門職として看護師(非常勤)、栄養士を配置した。事務は2名(正職員1名、非常勤1名)配置した。支援体制は2エリア(1エリアに2グループ)に分け、各グループに支援員(正職員2、3名・非常勤1、2名)を配置して支援にあたった。グループホーム「ハウスヒルサイド」「ハウスJOY」の夜間業務や時間帯に応じた後方支援を週1、2回行った。新規グループホーム開所に向けて年度途中から準備担当職員3名を配置した。

2 事業実績

(1)生活介護事業(定員50名・現員58名)

①利用者概況(平成28年3月31日現在)

(ア)障害支援区分状況

障害支援区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	2	3	13	18
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	4	15	11	30
	女	0	0	0	0	0	1	1	2
療育手帳 B1	男	0	0	0	0	2	2	0	4
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	1	2	0	3
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	0	9	22	24	55
	女	0	0	0	0	0	1	2	3

(イ)年齢状況

年齢	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	計	平均
男性	2	23	18	11	1	55	33歳9か月
女性	0	1	1	1	0	3	34歳3か月
計	2	24	19	12	1	58	33歳0か月

(ウ)利用期間状況

年	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均利用期間
男	2	1	2	13	37	0	55	9年2か月
女	0	0	0	1	2	0	3	10年5か月
計	2	1	2	14	39	0	58	9年8か月

(エ) 長期入院等状況

状 況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院者	0
3か月以上の継続入院者	1
1か月以上3か月未満の継続帰宅者	0
3か月以上の継続帰宅者	0

(オ) 利用方法状況

自力	16
保護者送迎	17
送迎バス	14
その他	11
計	58

(カ) 利用日数状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
要通所日数	21	18	22	22	16	21		
平均通所日数	18.7	16.2	20.1	20.1	14.5	17.7		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要通所日数	23	20	19	18	20	22	242	20.2
平均通所日数	19.9	17.6	17.8	16.3	18.9	20.3	218.1	18.2

(キ) 入退所

入所者	入所日	居住区	備 考
男性(18歳)	4月 1日	金沢	養護学校(県立)高等部新卒
男性(18歳)	4月 1日	磯子	養護学校(県立)高等部新卒
退所者	退所日	居住区	備 考
男性(27歳)	9月27日	港南	他法人の入所施設利用

(2) 短期入所事業 (定数: 1名)

① 利用状況 (宿泊延べ日数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10	19	22	31	26	22	24	26	25	23	12	21	255日

② 障害支援区分状況(実数)

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	0	4	10	14	28
女性	0	0	0	0	0	1	1

③ 年齢状況(実数)

年齢	～19	20～29	30～39	40～	計
男性	1	15	8	4	28
女性	0	1	0	0	1

(3) 日中一時支援事業 (定数: 2名) 利用者数11人 利用実績42.0日

3 支援及び運営状況

(1) 支援方針及び内容

個別支援計画を策定し半期に1回支援の見直しを行った。利用者を取りまく家族や地域資源、医療機関との協力・連携に務めた。

(2) 日中支援

個々の利用者の特性に応じた作業環境や日課を提供し、受注作業を中心に自立的に活動が遂行ができるよう支援した。安定した通所や生活リズムを整えるため家庭と協力して支援を進めた。受注作業は、組立(自動車部品・電気スイッチ部品)、梱包(食膳セット・菓子等)作業等の他に近隣の流通関係会社に出向き職業的活動を継続した。区土木事務所からの公園清掃委託業務も継続した。

(3) 余暇支援

カラオケ(年3回)、プール(年6回)、宿泊旅行(年5回)など利用者が安心して余暇活動を楽しめる余暇を提供した。

(4) 短期入所・日中一時支援サービス

サービス提供日以外の希望に対しては入所事業所の利用を勧奨した。保護者の高齢化に伴い短期入所の利用実績は増加傾向にある。

(5) 地域生活支援

グループホーム「ハウスヒルサイド」「ハウスJOY」への車輛送迎を行った。通所途上の付き添いや定期的な状況把握を行った。家庭生活や週末及び通所の移動に困難をきたしている利用者や家族に対して入所事業所の短期サービス、移動支援サービ

スの利用調整を行った。平成28年3月に2か所のグループホーム(「ハウスノア」「ハウスオーク」)を開設した。

(6) 運営関係(教育・学生実習・啓発活動等)

日常業務における現任訓練、嘱託医や臨床心理士による専門研修、新任研修、外部派遣研修を行った。神奈川県自閉症児者親の会の自閉症療育者トレーニングセミナーに参加した。現場実習として特別支援学校高等部生徒(4名)、福祉系大学生(2名)を受け入れた。特別支援学校教員及び保護者、施設職員、当事者団体、地域関係者の見学を受け入れた。

共同生活援助事業(南部方面グループホーム)

1 事業概況

管理者、サービス管理責任者(係長兼務)、複数のグループホームを兼任する支援員、各グループホームの専任支援員(正職員及び非常勤)を配置し、新規の「ハウスノア」「ハウスオーク」を含めた4グループホームが連携できる体制を構築した。日中活動は全員が「ポルト能見台」を利用した。

2 事業実績

(1) 利用者概況(平成28年3月31日現在)

〈ハウスヒルサイド〉定員5名

① 障害支援区分状況

	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	1	0	2	2	5
女	0	0	0	0	0	0	0

② 年齢状況

	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	合計
男	0	0	4	1	5
女	0	0	0	0	0

〈ハウスJOY〉定員5名

① 障害支援区分状況

	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	0	4	1	5
女	0	0	0	0	0	0	0

② 年齢状況

	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	合計
男	0	2	3	0	5
女	0	0	0	0	0

〈ハウスノア〉定員5名

① 障害支援区分状況

	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	1	2	2	5
女	0	0	0	0	0	0	0

② 年齢状況

	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	合計
男	2	0	5	0	5
女	0	0	0	0	0

〈ハウスオーク〉定員5名

① 障害支援区分状況

	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	2	2	1	5
女	0	0	0	0	0	0	0

② 年齢状況

	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	合計
男	1	1	3	0	5
女	0	0	0	0	0

3 支援及び運営状況

利用者が安心して健康的に暮らせる生活環境作りを心がけた。地域のレストランでの夕食、日用品の買物など活動の幅を広げた。日中活動を利用するため公共交通機関の利用支援を行った。「ハウスヒルサイド」「ハウスJOY」は「ポルト能見台」と連携して宿泊レクを実施した。年度末にオープンした「ハウスノア」「ハウスオーク」はグループホームの生活に慣れることを中心に安心感のある支援を行った。

地域支援課

「共同生活援助事業(北部方面グループホーム)」

1 事業概況

職員の異動に伴い係長、主任(3名)による担当ホームの見直しと業務内容を調整した。

家族の高齢化や緊急対応による週末利用が増加したため非常勤職員の募集を行った。グループごとに余暇活動を行った。

2 事業実績

(1)利用者概況(平成28年3月31日現在)

事業所名	定数	障害支援区分						性別		年齢			
		1	2	3	4	5	6	男	女	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～
ハウスBEE	5	0	0	0	0	3	2	5	0	0	0	4	1
ハウスSEA	4	0	0	0	1	3	0	4	0	0	0	3	1
ハウスDOUX	5	0	0	0	0	1	4	5	0	0	1	3	1
ハウスEEL	5	0	0	0	3	1	1	4	1	0	0	5	0
ハウスF	4	0	0	2	2	0	0	4	0	0	1	3	0
ハウスG	6	0	0	0	1	1	4	6	0	0	0	5	1
ハウスi	5	0	0	0	1	3	1	5	0	0	3	2	0
ハウスK	5	1	4	0	0	0	0	5	0	3	0	1	1
ハウスLm	5	0	0	0	0	3	2	5	0	0	0	5	0
ハウスMuu	5	0	0	0	0	3	2	5	0	2	1	2	0
合計	49	1	4	2	8	18	16	48	1	5	6	33	5

(2)支援状況

①ハウスBEE

週末利用の増加により職員配置を調整した。居宅介護サービスの利用を継続し、ホームヘルパーの充足に努めた。

②ハウスSEA

週末利用の増加により職員配置を調整した。通所先や家族、関係機関と連携し、通院や余暇活動の調整を行った。

③ハウスDOUX

週末利用の増加により職員配置を調整し、休日の過ごし方を検討した。移動支援等のサービス利用にあたり引き継ぎや支援の組み立てを行った。

④ハウスEEL

週末利用希望者の増加により職員配置を調整し、引き継ぎや支援体制を整備した。

⑤ハウスF

後見人や就労先と連携しながら定期的に面談を行い、安定した生活の維持に努めた。通院同行など利用者の健康状態を把握した。

⑥ハウスG

後見人を含めた家族との連絡を密にし、安定した生活の維持に努めた。居宅介護サービスの利用を継続し、ホームヘルパーの調整を行った。

⑦ハウスi

下半期から利用者(1名)が週末利用を開始したため職員配置を調整した。通院同行や関係機関との会議など連携を図った。

⑧ハウスK

下半期から通所先が変更となった利用者支援について関係者と検討した。定期的に後見人との面談を行った。カラオケ余暇を提供した。

⑨ハウスLm

平成27年3月開所のため1年を通して利用者の状態を把握し安定的な運営を目指した。

⑩ハウスMuu

平成27年3月開所のため安定的な運営を目指した。下半期に職員の退職により新しい職員が着任したため引き継ぎと支援体制の整備に努めた。

「ヘルパーセンターやまびこ」

1 事業概況

居宅介護、行動援護、移動支援サービスを提供した。新規事業として重度訪問介護を4月から実施した。増加する利用需要に対応するため行動援護従業者養成講座、ガイドヘルパー養成講座を実施した。神奈川県受託の強度行動障害支援者養成研修の事務局を担った。行動援護事業は特定事業所加算を申請した。

2 事業実績

(1) 派遣件数、事業収入等

	移動支援	行動援護	居宅介護	重度訪問介護
利用件数	1,691件	1,742件	3,392件 7か所(B・S・D・E・G・I・J)	148件
在籍ヘルパー	78名	30名	12名	5名
稼働時間	5,094時間	5,183.5時間	3,955.65時間	238.4時間
給付費収入	13,348,900	34,181,416	18,676,936	10,718,926
収入合計	47,530,316円		18,676,936円	10,718,926円

(2) サービス状況

移動支援、行動援護は社会生活上必要な外出(買物等)が多数を占めた。家庭のレスパイトニーズが増加した。居宅介護は、グループホーム利用者には十分な支給決定が行われたがヘルパーが不足し(12名)、事業収入も減少した。重度訪問介護は他法人の利用者と法人グループホームでも1名が利用した。おもに週末に派遣した。

(3) 養成研修事業

①移動支援ガイドヘルパー養成講座(2回) 受講者:16名

②行動援護従業者養成研修(1回) 受講生:27名

③外部派遣研修

川崎市行動援護従業者養成研修(講師3名・ファシリテーター1名)

④神奈川県強度行動障害支援者養成研修(基礎研修・3回)

(4) ヘルパー会議等

勉強会8回 「障害福祉制度」「事例検討」「地域で暮らす」「親として」「危機管理」等

「計画相談事業」

1 事業概要

平成27年4月から障害福祉サービスの支給決定に先立ちサービス等利用計画の作成が必須となり、相談支援専門員の主業務であるサービス利用支援(計画作成)、継続サービス利用支援(モニタリング)に加え、基本相談として日常的な相談に対応し必要な情報提供や助言を行った。横浜市の示す手続きに沿った支援プロセスで対応できる件数に制約があり利用希望に応えられない状況が続いた。相談支援専門員2名と補助スタッフの3名体制で対応したが、専門員の産休により実施件数は当初の見込みより減少した

2 事業実績 新規:115件(更新80件含む) モニタリング:172件 利用者在籍総数:105名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	2	5	3	4	0	5	1	3	3	4	3	2
更新	4	8	7	9	14	7	7	4	2	7	7	4
継続	14	9	10	18	6	10	14	18	17	20	13	23
合計	20	22	20	31	20	22	22	25	22	31	23	29

3 支援状況

計画作成、モニタリングに加えて情報提供や助言を行う必要があるため横浜市主催の研修に出席し、制度や各事業所の最新情報を把握して多職種と情報交換や連携を図る機会を

増やした。都筑区自立支援協議会の相談支援部会の研修に出席し、計画相談実施時のアセスメントや実践報告に加え、実績件数が少ない知的障害者の重度訪問介護実施プロセスについて情報提供を行った。

就労支援課

「横浜日吉就労支援センター」

1 事業概況

障害者就労支援センター事業と職場適応援助者(ジョブコーチ)助成金事業を実施した。センター長、就労相談員4名、職場適応援助者1名を配置した。相談対応は就職を希望する登録者に対し評価を行い、職業イメージ、作業能力、社会的スキルの状況を把握し、職業選択の支援を行った。きめ細かい支援が必要な登録者に対しては訪問型職場適応援助者(JC)事業を活用して登録者と企業双方への定着支援を行った。ハローワークと連携し雇用率未達成企業に対して雇い入れに関する相談を実施した。職場開拓した企業に対しては関係構築のための支援や雇い入れ支援を行った。

2 事業実績

(1) 相談支援件数

① 当事者支援・内容別 1,735件

就労に向けた支援596件、職場定着に向けた支援760件、日常生活・社会生活に関する相談50件、就業と生活の両方にわたる相談支援329件 *未登録194件

② 実習先・手段別 1,427件

来所相談308件、電話・FAX・Eメール864件 企業訪問453件
訪問支援(就労移行等)110件 *未登録120件

③ 企業・関係者への対応内容

- ・企業 就労に向けた支援17件、職場定着に向けた支援2件、日常生活・社会生活に関する相談0件、就業と生活の両方にわたる相談支援0件
- ・関係者 就労に向けた支援17件、職場定着に向けた支援6件、日常生活・社会生活に関する相談3件、就業と生活の両方にわたる相談支援23件

④ 企業・関係者への手段

- ・企業 来所相談1件、電話・FAX・Eメール4件 直接訪問等4件
- ・関係者 来所相談4件、電話・FAX・Eメール13件 直接訪問等32件

(2) 新規就職者数(1か月以上の雇用契約を締結したもの) 13名 *かっこ内は自閉症・発達障害

① 診断別

- ・企業 身体障害0名、知的障害4名(3名) 精神障害9名(8名)

② 手帳別

- ・A 1:0 A 2:0 B 1:0 B 2:4(3) 精 1:0 精 2:4(4) 精 3:5(4)

③ 精神障害・状態別

- ・疾病1 発達障害8 高次脳機能障害0

(3) 離職者数 3名

① 身体障害0名、知的障害0名 精神障害3名(2名)

② 手帳別 A 1:0 A 2:0 B 1:0 B 2:0 精 1:0 精 2:2 精 3:1

③ 精神障害・状態別 疾病1 発達障害2 高次脳機能障害0

(4) 登録者数158名(基本支援対象者102名)

① 支援内容

- ・継続: 求職支援13 定着支援71 合計84
- ・新規: 求職支援11 定着支援 7 合計18

② 手帳別

- ・継続: 身体2 知的35 精神47 手帳なし0 合計84

・新規：身体0 知的 6 精神11 手帳なし1 合計18

③手帳等級別

・継続：身3・1 身6・1 A1・2 A2・1 B1・1 B2・7 精2・18 精3・29 手帳なし0 計84

・新規：身3・0 身6・0 A102 A2・0 B1・0 B2・6 精2・7 精3・4 手帳なし1 計18

③精神障害・状態別

・継続：疾病7 発達障害39 高次脳機能障害0 その他1 合計47

・新規：疾病2 発達障害 9 高次脳機能障害0 その他0 合計11

(5)訪問型職場適応援助者助成金 (JC) 事業

①稼働実績 担当者1名 稼働実績147日 平均稼働日数 12.25日/月

②支援状況(重複あり) 新規支援5名 雇用後フォローアップ支援10名 事前支援4名

③支援事業所14社(生協1 製造業3 小売業6 人材派遣業2 サービス1 卸売1)

④支援内容 延べ支援件数183件 (支援計画の策定11件、集中支援43件、フォローアップ訪問84件、事前支援42件、ケース会議3件)

苦情解決事業：1件

就労後、日吉就労支援センターに登録しフォローアップを受けている利用者の親から就労先の会社から本人が心理的虐待を受けているという訴えがあり、本事案について就労支援センターが両者の調整や仲介ができていないという苦情があった。担当者を変えて、両者から聞き取りを実施。職場環境の調整や精神科との連絡調整を行った結果、家族の納得を得た。

「ワークアシスト」

1 事業概況

管理者、就労支援員、職業指導員、生活指導員、施設外就労担当者を配置した。職業訓練は作業エリアでの職業基礎訓練 (パソコン操作訓練、名刺作成の編集・印刷の模擬作業)、社会生活技能の訓練としてグループセッションを実施した。「神奈川ゆめコープ横浜北センター」にて8名が企業内訓練を実施した。障害者雇用サポートは企業の雇用管理体制が整ったため平成27年7月末で終了した。見学を適宜受け入れ、体験実習の希望者には月2回実施した。利用定員を大幅に割っている状態は改善しなかった。

2 事業実績

(1)就労移行支援事業(定員20名・現員6名)

①利用者状況・在籍6名(平成28年3月31日現在)

(ア)障害支援 ※うち1名はB2手帳も重複所持

障害支援	B1	B2	精1	精2	精3	計
男性	0	1	0	1	2	4
女性	0	1	0	0	1	2
合計	0	2	0	0	3	6

(イ)年齢

年齢	～19	20～	30～	40～	合計
男性	0	2	2	0	4
女性	0	1	0	1	2
合計	0	3	2	1	6

(ウ)新規利用者 3名 (年齢は利用開始時点)

	入所者	居住区	入所日	障害の種類
1	21歳(男性)	都筑	H27. 4. 1	自閉症
2	22歳(女性)	港北	H28. 2. 8	広汎性発達障害
3	31歳(男性)	都筑	H28. 2. 15	広汎性発達障害/不安障害

(エ)退所状況 10名(退所時年齢)

	退所者	居住区	退所日	理由
1	26歳(男性)	港南	H27. 4. 30	企業就労
2	28歳(男性)	港北	H27. 5. 31	企業就労
3	25歳(男性)	鶴見	H27. 8. 31	利用期間終了(就労支援センターへ登録)
4	33歳(男性)	保土ヶ谷	H27. 10. 30	就労困難(就労継続Bへ)

5	30歳(男性)	神奈川	H27. 10. 30	就労困難(就労継続Bへ)
6	26歳(女性)	磯子	H27. 11. 9	企業就労
7	28歳(男性)	港北	H27. 2. 2	企業就労
8	31歳(男性)	旭	H27. 12. 18	企業就労
9	37歳(女性)	緑	H27. 12. 28	就労継続Aへ就職
10	20歳(女性)	都筑	H28. 2. 18	企業就労

3 企業内訓練実績(訓練生状況)

	性別	障害の種類	訓練期間	現況
1	男性	広汎性発達障害・精神2	H26. 1. 6～H27. 4. 28	企業就労
2	女性	広汎性発達障害・療育B2	H26. 3. 10～H27. 12. 25	就労継続A
3	男性	知的障害・療育B2	H26. 8. 20～H27. 10. 30	就労継続B
4	男性	アスペルガー・精神3・療育B2	H27. 2. 2～H27. 5. 29	企業就労
5	男性	広汎性発達障害・精神2	H27. 4. 7～	訓練継続中
6	女性	アスペルガー・精神2・療育B2	H27. 4. 10～H28. 2. 19	企業就労
7	男性	自閉症・精神2	H27. 4. 10～H27. 11. 13	企業就労
8	男性	自閉症・療育B2	H27. 5. 8～	訓練継続中

4 見学・体験実習参加者

	対象	内容	人数
1	家族	施設見学	16名
2	学校・関係機関	施設見学	21名
3	当事者	施設見学	17名
4	体験実習参加(3～5日)	訓練体験参加	9名

相談課

「横浜市発達障害者支援センター」

1 事業概況

発達障害者支援センター事業はセンター長含めて相談員8名(社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士)を配置した。相談支援、就労相談、機関コンサルテーション、機関連携をおもだした事業として実施した。特定相談は全区に拡大した。発達障害者自立生活アシスタント事業は2名を置き支援を行った。増え続ける相談需要に対応し、相談環境を改善するため平成28年2月に事務所移転を行った。

2 事業実績

(1) 相談支援

- ① 相談件数 実支援人数632名(前年度570名) のべ件数5,212件(前年度5,709件)
 新規194名(前年度210名) 男性132名・女性:62名 市内192名・市外2名
 継続438名(前年度360名)

② 支援内容(実数は重複あり)

	支援内容	実人数(重複有)	のべ件数
相談支援	相談	425人	3,390件
	調整会議	55人	70件
	機関コンサル	3人	3件
就労支援	相談	199人	1,822件
	調整会議	13人	16件
	企業に対する啓発	0人	7件

③ 年齢内訳(実数)

16～18歳	8人
19～39歳	535人
40歳以上	89人
不明	0人
合計	632人

④特定相談

昨年まで3区であったが、上半期に10区、下半期に5区に拡大し全市展開がようやく実現した。これにより一次相談支援機関における取り組みが進展する期待が高まった。相談員2名体制で各区を担当し(原則月1回)、区役所高齢・障害支援課を窓口とした初回相談、医療ソーシャルワーカーと地域活動ホームや生活支援センターとの相談における配慮事項、地域資源等についての情報交換等を行った。

⑤その他

継続相談のうち就労者には土曜日(月2回)に相談日を設けた。

(2) 広報啓発・機関連携

①研修事業

センター主催または共催で企画した研修(9回・223名)、講師派遣(26回・1,948名)、地域住民向け講演会の開催(2回・16名)、企業等に対する啓発(7回・8名)

②広報事業

法人機関紙『マンスリーやまた』編集発行(6月号・9月号・12月号・3月号)。紙面内容を見直し、カラー印刷に変更した。

③機関連携

各種会議(特定相談における一次相談支援機関との定例会議、区自立支援協議会、市自立支援協議会、二次相談支援機関連絡会、その他関係者会議等)へ出席し機関連携を行った。

(3) 発達障害者自立生活アシスタント事業

登録者:13名(男性9名、女性4名)

未登録相談ケース:6名(男性4名、女性2名)

登録者生活状況:単身13名、障害者のみ家庭0名、家族同居(単身準備)0名

①支援方法

	登録	未登録
面接(来所)	75件	5件
電話・メール・FAX	644件	22件
訪問	47件	12件
外出付き添い	50件	2件
合計	816件	41件

②支援内容(重複あり)

	登録	未登録
心理・情緒	467件	31件
医療・健康	338件	5件
消費生活	306件	25件
就労	58件	2件
衣食住	377件	32件
対人関係の調整	314件	23件
制度	61件	1件
関係機関との連携	229件	13件

横浜市学齢後期発達相談室「くらす」

1 事業概況

室長を含めて職員5名(社会福祉士、臨床心理士)を配置し、発達障害のある中高生の相談、移行期支援として小学6年生の中学校入学にあたっての相談を行った。関係機関の訪問、連絡会議等への出席、見学受入れ、高校説明会への参加、情報収集やネットワークの構築を行った。

2 事業実績

(1) 相談支援

新規100件(男77、女23) 継続92件(男66、女26)

終結11件(対象年齢超過に伴う他機関への引き継ぎが終了したため)

①年齢構成 (実人数)

小学生	中1	中2	中3	高1	高2	高3	19歳以上	合計
2	32	40	25	35	28	27	3	192

②相談方法(のべ件数)

相談方法	件数
来所	1,109
訪問	82
電話(インテーク相談以降)	968
その他 (FAX、メール等)	53
合計	2,212

③相談対象者(のべ件数)

対象者	件数
本人	549
家族	1,095
教職員	266
関係機関職員	409
その他	1

④相談内容(おもな相談内容を3項目までカウント)

相談内容	件数
家庭での対応	870
学校・通所先での対応	579
不対応行動への対応	216
対人関係	327
感情コントロール	458
不登校・ひきこもり	259
進路	798
退院後の生活	44
放課後・余暇の過ごし方	118
他制度資源利用	286
医療機関利用	182
その他	75
合計	4,212

(2) グループ活動等

- ①中学生対象グループ活動 1回
- ②中高生対象グループ活動 6回
- ③高校生対象グループ活動 4回
- ④保護者勉強会 2回

3 機関連携

- ①ケース会議 42回
- ②自立支援協議会・連絡会議等への参加 34件
- ③外部講師依頼 17件
- ④事業説明訪問・見学対応 21機関

高齢福祉事業部

「横浜市本牧和田地域ケアプラザ」

通所介護事業の1日平均利用者数は24.7名で目標(25名)未達であったが、前年度実績(23.5名)を上回った。平成28年2月から人員体制を強化し、中重度者ケア体制加算の認可を受けた。居宅介護支援事業は9月から特定事業所の認可を受けたため加算算定による収入が増えた。地域包括支援センターは本人、家族に加えケアマネからの相談が増えており、とくに独居、高齢世帯に関する問題が多くあがった。介護予防事業では地域活動交流事業と連携し、屋外で行う事業を実施した。地域ケア会議は定例開催が定着し、参加者とともに地域課題の共通認識ができた。

1 通所介護事業・介護予防通所介護事業

①利用登録者：111名(平成28年3月31日現在) 男性42名 女性69名

介護度別内訳	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数(人)	4	13	20	37	22	9	6
比率(%)	3.6	11.7	18.0	33.3	19.8	8.2	5.4

②利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	29	31	360
介護延べ数	638	686	670	693	613	637	674	629	635	600	628	655	7,758
平均	21.3	22.1	22.3	22.4	19.8	21.2	21.7	21.0	22.7	21.4	21.7	21.1	21.6
予防延べ数	74	78	83	84	106	95	102	99	88	106	105	107	1,127
平均	2.5	2.5	2.8	2.7	3.4	3.2	3.3	3.3	3.1	3.8	3.6	3.5	3.1
1日平均	23.7	24.6	25.1	25.1	23.2	24.4	25.0	24.3	25.8	25.2	25.3	24.6	24.7

③利用終了者：35名

理由	死亡	入院・入所	その他
人数(人)	11	7	17

2 居宅介護支援事業

①契約者数：115名(平成28年3月31日現在)

介護度別内訳	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数(人)	1	3	34	36	23	9	9
比率(%)	0.9	2.6	29.6	31.3	20.0	7.8	7.8

②要介護認定調査実施件数：137件

3 介護予防支援事業

①契約者数：101件(平成28年3月31日現在) 内訳：要支援1・34名 要支援2・67名

4 地域包括支援センター

①相談・訪問実績 相談件数：536件 訪問実績：382件

②相談内容内訳

内容	相談	訪問
介護保険	368	289
介護予防	1	0
行政サービス	3	2
インフォーマルサービス	32	14
認知症	52	67
介護・医療(認知症以外)	505	354
施設入所・入院	30	12
日常生活課題	1	3
苦情	7	0
成年後見制度・消費者保護	9	22
虐待	12	7
ケアマネ相談支援	219	56

③援助内容内訳

内容	相談	訪問
安否確認・状況把握	521	379
介護・保健等指導助言	275	267
介護保険・行政サービス申請受付	70	59
他機関との調整	255	338
情報提供(サービス・施設紹介等)	207	163
傾聴	84	11

④自主事業(包括的・継続的アマゼジメント事業)

事業名	実施回数	対象者	参加人数	共催・協力
安心生活講座	5回	一般住民	のべ25名	行政書士会
認知症ポーター養成研修	3回	小中学生 介護保険事業所	40名 15名	麦田CP他
認知症介護者の集い	6回	家族介護者・支援者	のべ24名	中区役所
「こころの健康」ホッとする相談室	6回	一般市民	7名	中区生活支援センター
地域包括支援センターたより	4回	介護保険事業所等関係機関へ配布		

⑤地域ケア会議(隔月開催)

5回実施した。参加人数：個別ケース3回 のべ63名、包括レベル2回 のべ60名。

⑥介護予防普及強化事業(横浜市委託事業)

実施場所	実施回数	参加人数	内容
新本牧公園	7回	平均11.8名	屋外での軽体操
根岸自治会館	2回	平均17.5名	口腔ケア、エンディングに関する講義
本牧三之谷町内会館	2回	平均20.5名	エンディング、食事と栄養に関する講義
本牧元町南部町内会館	3回	平均28.3名	ロビーフィットルーム、栄養、口腔ケアに関する講義
本牧和田ケアプラザ	2回	平均18.5名	介護予防体操と栄養、口腔ケアに関する講義

5 地域活動交流事業

①高齢者支援

事業名	実施回数	参加人数	内容
楽笑サロン「さつき会」	46回	平均16.0名	一般高齢者対象。介護予防のレク活動。
認知症予防 学習交流サロン「なごみ」	48回	平均9.3名	従来の簡易計算や音読の他、臨床美術療法を取り入れた認知症予防教室。

②子育て支援

事業名	実施回数	参加人数	内容
子育てサロン	12回	平均8.8組	子育て中(未就園児)の母親交流。子育て情報提供。
目指せ!イクメンの星	6回	平均2.6組	父親と子どもと一緒に体を動かす遊び。父親交流

③障害児者支援

事業名	実施日	参加人数	内容
余暇活動支援事業「ポップステップ 夏休み」	8月17日	児童5名 ボランティア14名	近隣小学校3校の個別支援学級児童養護施設と連携し、夏休みの余暇支援を実施。

④ボランティア育成・地域参加支援

事業名	実施回数	参加人数	内容
男性料理教室	4回	平均9.25名	シニア世代男性の地域活動参加へのきっかけづくり。障害児余暇支援事業では昼食作りに協力。
ボランティア交流展	通年	のべ40人	ボランティア自身が活動内容の紹介や活動の感想をメッセージカードに書き館内に掲示。
ボランティア入門講座	1回 7月4日	23名	障害理解を深め、夏休みの余暇支援等で活動。中区6CP共催事業。

⑤支え合い活動支援

事業名	内容
世代間交流会	7月14日 間門小学校「はまっ子ふれあいスクール」児童(100名)と楽笑サロン「さつき会」参加者(5名)がペタンクを通して交流を図った。 10月28日 本牧中学校生徒(28名)と老人会合唱サークルと自主事業参加者(15名)がレクリエーションで交流。八聖殿郷土資料館の協力で郷土資料を使用。
ふれあい収集活動	地域の単身高齢者等を対象とし、本牧中学校ボランティアの会の協力により古紙回収の支援活動を実施。高齢者世帯2件に実施。
エコキャップ収集	発展途上国の子どもへクワシ寄贈。ペットボトルキャップ回収。約174.5kg。約87人分。

⑥その他

事業名	内容
地域団体の活動支援 (5か所)	地区社協や単位町内会が行う食事会や茶話会、体操会等の活動支援。 ケアプラザからの情報提供の他、個別相談の機会として活用。
福祉教育支援	近隣小中学校の福祉体験学習等の企画、実施。 小学校(個別支援級含)2校(3回) 中学校4校(6回)

⑦広報活動

- ・ 広報紙「ぽんぽこだより」 1回約1,600部発行(年4回)
ケアプラザからの情報提供だけではなく、地区社協の活動や地域情報を掲載。
- ・ ホームページ 広報紙の他、自主事業の案内などを掲載。

6 運営協議会

第1回 平成27年6月17日 平成26年度事業報告

第2回 平成28年3月2日 平成28年度事業計画

「東山田地域ケアプラザ」

居宅介護支援は年度途中の常勤職員の異動に伴い非常勤職員2名の採用を行った。通所介護事業の1日平均利用者数は19.3名と前年度実績(17.3名)を上回った。地域包括支援センターはエリア内の他事業所との共催事業を実施し、新たな地域活動の立ち上げと事業所間の連携強化を図った。

1 通所介護事業

①利用登録者：51名(平成28年3月31日現在) 男性16名 女性35名

介護度別内訳	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数(人)	7	3	8	14	11	6	2
比率(%)	13.7	5.9	15.7	27.5	21.6	11.8	3.9

②利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	
稼働日数	26	26	26	27	26	26	27	25	24	24	25	27	309	
介 護	延数	407	398	408	467	453	449	478	421	425	383	403	453	5,145
	平均	15.7	15.3	15.7	17.3	17.4	17.3	17.7	16.8	17.7	16.0	16.1	16.8	16.6
予 防	延数	37	38	48	52	55	79	92	87	87	78	89	89	831
	平均	1.4	1.5	1.8	1.9	2.1	3.0	3.4	3.5	3.6	3.3	3.6	3.3	2.7
1日平均	17.1	16.8	17.5	19.2	19.5	20.3	21.1	20.3	21.3	19.2	19.7	20.1	19.3	

③利用用終了者：29名

理由	死亡	入院・入所	その他
人数(人)	3	20	6

2 居宅介護支援事業

①契約者数：65名(平成28年3月31日現在)

介護度別内訳	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数(人)	0	0	19	19	15	7	5
比率(%)	—	—	29.2	29.2	23.1	10.8	7.7

②要介護認定調査実施件数：97件

3 介護予防支援事業

①契約者数：169件(平成28年3月31日現在) 内訳：要支援1・70名 要支援2・99名

4 地域包括支援センター

①相談・訪問実績 相談件数：1,155件 訪問実績：223件

②相談内容内訳

内 容	相談	訪問
介護保険	698	153
介護予防	10	5
行政サービス	24	6
インフォーマルサービス	44	6
認知症	141	29
介護・医療（認知症以外）	59	25
施設入所・入院	62	10
日常生活課題	176	70
苦 情	3	0
権利擁護(虐待含)	62	7
ケアマネ相談支援	119	5

③援助内容内訳

内 容	相談	訪問
安否確認・状況把握	861	213
介護・保健等指導助言	49	39
介護保険・行政サービス申請受付	59	45
他機関との調整	499	113
情報提供(サービス・施設紹介等)	595	176
傾聴	12	1

④自主事業(包括的・継続的ケアマネジメント事業)

事業名	実施回数・参加者	目的及び内容
ケアマネ情報交換会 (新栄CP共催)	6回実施 参加者総数100名	目的：①情報交換②ネットワークの構築 内容：通常業務に必要な情報提供。意見交換会
主任ケアマネジャー連絡会 (区内5包括共催)	2回実施 参加者総数29名	目的：①情報交換②ネットワークの構築 内容：通常業務に必要な情報提供。意見交換会
新任ケアマネジャー研修会 (区内5包括、区共催)	1コース実施 24名参加	目的：新任ケアマネジャーのための情報提供 内容：講座(施設見学会を含む)の実施
ケアマネサロン	12回実施 参加者総数29名	目的：①情報交換②ネットワークの構築 内容：勉強会含むサロンの開催
エリア連絡会	2回実施 参加者総数66名	目的：①情報交換②ネットワークの構築 内容：通常業務に必要な情報提供。意見交換会

⑤自主事業(権利擁護事業)

事業名(自主事業)	実施回数・参加者	目的及び内容
介護者のつどい 「ほっと茶屋」	12回実施 参加者総数50名	目的：①介護者の仲間づくり②ストレス解消 内容：茶話会、介護に関するミニ講座
権利擁護講座 無料相談会及び講座	4回参加者17名	目的：成年後見人制度の普及・啓発 内容：行政書士による無料相談会・後見的支援の講演
認知症&予防カフェ コソコソ	12回 参加者総数448名	目的：①認知症予防の普及啓発②認知症にやさしい町づくり 内容：カフェの運営(後方支援)

⑥自主事業(介護予防事業)

事業名(自主事業)	実施回数・参加者	目的及び内容
健康麻雀サロン	3回(69名)	認知症予防。麻雀講座の実施
シニア健康体操	3回(410名)	介護予防。体操教室での健康講話。

⑦介護予防普及強化事業

事業名(自主事業)	実施回数・参加者	内容
転ばぬ先の塾	年4コース(119名)	ロコモ体操。麻雀サークルと健康体操。ポールウォーキング。男の料理教室

⑧地域ケア会議 個別ケース2回(39名参加) 包括レベル1回(21名参加)

5 地域活動交流事業

①子育て・障害等相談件数 子育て関係3件 障害関係2件 その他10件

②高齢者支援・認知症予防事業

事業名	実施回数・参加者	内 容
ゆうゆう東山田	15回(311名)	認知症予防、引きこもり防止。ミニデイサービス。
ふきのとう	17回(491名)	認知症予防、引きこもり防止。会食会。
ケアプラ談話室	16回(170名)	認知症予防、引きこもり防止。茶話会。
生き生きクラブ	38回	高齢者の生活支援。介護保険外サービスの実施。

③子育て支援

事業名	実施回数・参加者	内 容
ぞうさんくらぶ	12回(434名)	未就園児と養育者の仲間づくり。サロンの実施。
あそびのおもちャランド	11回(552名)	未就園児と養育者の仲間づくり。イベントと咖。
親子体操 ころころぱんだ	26回(477名)	親子の咖。仲間作り。インストラクターによる体操教室
ママと赤ちゃんの健康講座(区共催)	4回(149名)	離乳食期の仲間づくり。離乳食教室と心育て講座。
小児救急法	1回(27名)	未就園児の救急時対応。北山田消防署による小児救急法。

④障害児者支援

事業名	実施回数・参加者	内 容
アフリカダンスくらぶ	8回(91名)	発達障害児との交流。インストラクターによるダンス教室。
1番素敵なおトを見つけよう	3回(27名)	目的：発達障害との交流。美術教師によるアート講座。

⑤地域支援・ボランティア活動支援

事業名	実施回数・参加者	内 容
けあぶらまつり	5月10日実施(600名)	東山田連合町内会、ボヲ団体と共催。祭の実施
東山田連合町内会納涼盆踊	8月7、8日	地域連携。駄菓子、お面販売など。
東山田ボランティア友の会	18回(266名)	ボランティアの交流・育成。研修会の企画・運営。
すみれが丘けやきの会	252回	住民相互の助け合いと介護予防講座の実施。
子どもも大人もボヲ体験	5回(12名)	ボヲ講座、ボヲ団体の活動参加、デイサービスへの参加
福祉教育～職場体験実習～	4回(12名)参加	福祉教育。福祉体験実習の受け入れ。
北山田駅前広場マルロケヨン	1回(300名)	地域子育てづくり。Tシャツを作りファッションショーを行う。
ケアプラギャラリー	常設(毎月更新)	地域で活動する個人やサークルの作品展示。
ケアプラザ大掃除ボヲ隊	3回(36名)	貸館利用団体の関係づくり。交流ブースの大掃除。

⑥広報活動

- ・ 広報紙「けあぶら通信」 1回約2,250部発行〈4回〉情報提供を掲載
- ・ 開催事業ちらし 1回1種類各約2,200部発行〈50種類〉
- ・ ホームページ 広報紙の他、自主事業の案内等を掲載(月1回更新)

6 運営協議会

第1回(平成27年7月7日) 平成27年度事業計画等

第2回(平成28年2月16日) 平成27年度事業報告、平成28年度事業計画